

入学前

早く学校へ行きたいなあ！

学校へ入学することは、子供にとって大きな生活の変化です。また、楽しみとともに不安ももちます。

学校では、広い校庭で大勢の友達と遊んだり、話を聞いたり、楽しい給食があったりすることを話し、早く学校へ行きたいなあという気持ちをもたせてください。

困ったことがあったら、すぐに先生に相談するように。そして、お家に帰ったらお家の人にすぐにお話しするように伝えてください。



入学前におねがいします！

1 言語生活について

(1) あいさつ・返事は、しつけの第一歩です。

「おはようございます」「さようなら」「はい」「いいえ」などが、自分から大きな声で言えるようにしておきましょう。当たり前のことですが、なかなかできないものです。まず大人が、お手本を見せるようにしましょう。

(2) 自分の名前を《はっきり言える・読める》ようにしておいてください。

自分の名前や姓で呼ばれた際に返事をしたり、持ち物の確認をしたりするためです。ひらがな全部の読み書きができるようにということではありません。

(3) 見たこと・聞いたこと・思っていることが簡単でよいので話せるようにしておきましょう。言葉で意思表示ができることが大切です。

特に、体調の悪い時などは、どこが、どのようなのかが言えると助かります。また、幼児語は早めに直しておきましょう。

(4) 学校生活では、人の話をしっかり聞くことが大切です。

落ち着いて話を聞く態度を、身に付けられるように心がけてください。

普段の生活の中で、家族でゆったりとあたたかく優しい言葉で話し合う時間をもつようにしましょう。

2 身のまわりのことについて

今までは身のまわりのことをしてもらっていた子も、学校では自分でしなければなりません。身のまわりのことは、自分でできるようにしましょう。その為に、次のようなしつけと注意が大切です。

- (1) 学用品など自分の持ち物が、自分で分かるようにしておきましょう。
持ち物には全てにひらがなで名前を書いて、他人の物と区別ができるようにしておきましょう。下着・靴・靴下・レインコートなどにもお忘れなく。
- (2) 学用品の準備をしたり脱いだ洋服を畳んだりなど、自分の持ち物の整理整頓を、自分でできるようにしておきましょう。
- (3) 衣服の着脱が一人のできるようにしましょう。服装は自由ですが、脱ぎ着しやすく活動的で、清潔なものがよいでしょう。ハンカチやティッシュを日常的に身に付けられるよう、ポケットのあるものを推奨しますが、ポケットが無い場合は、外づけポケットを使用することができます。但し、ななめがけポケットは禁止しています。レインコートの着脱も自分でできるようにしておきましょう。
- (4) 給食は、4月中旬ごろから始まります。食事時間は20分ほどです。
時間内に、好き嫌いなく食べられるようにしておきましょう。
- (5) 一人でトイレに行って、用がたせるようにしておいてください。
また、和式トイレの使い方にも、慣れておくとよいでしょう。5月に予定されている生活科学習では、公園の和式トイレをおかりする場合があります。

3 遊びについて

子供の生活は遊びが中心ですが、最近は、テレビゲームや携帯ゲーム機などの遊びが中心になっている子が増えています。視力がおちたり、我慢強さに欠けたりするという問題も出てきています。体力増進のためにも積極的に外遊びをさせましょう。学校という集団生活の中では、誰とでも仲良く楽しく遊べるのが大切です。



4 基本的な生活習慣が身に付くようにしてください

(1) 身体を清潔にしましょう。

*歯みがき・洗顔は毎日しましょう。

*手足の爪は、短く切っておきましょう。→伸びていると友達を怪我させてしまいます。

*自分で爪切りができるように練習しましょう。

*手洗い・うがいの習慣を付けておきましょう。

(2) ハンカチ・ティッシュはいつも身に付けましょう。

ハンカチは毎日取り替えましょう。

(3) 毎日、必ず朝食をとってから、登校しましょう。

(4) 1年生ぐらいの子供では、睡眠は10~11時間必要です。

夜は、8時から9時までの間に寝られるよう、習慣を付けておきましょう。

正しく睡眠をとることがしっかりとした学力を身に付けることにつながります。

*早ね・早起きを心がけましょう。

*パジャマなどに着替えて寝るなどの習慣を身に付けておきましょう。

5 学習に向けて…

(1) 自分の名前は読めていますか。

(2) 椅子に正しく座れていますか。(正しく座るには背筋力が必要です)

授業は、自分の席に座って受けるのが基本です。椅子に座って学習にのぞめるようにしておきましょう。

(3) 間違った鉛筆の持ち方をしていると、正しく直すのに時間がかかることがあります。持たせる際は、正しい持ち方で持てるよう、下記の絵を御参照ください。

